

研究タイトル:

軍隊と地域の関係について、志願兵について



氏名:	木村 美幸/KIMURA Miyuki	E-mail:	m-kimura@fukui-nct.ac.jp
職名:	助教	学位:	博士(歴史学)
所属学会・協会:	史学会, 日本歴史学会, 大阪歴史学会, 近現代史研究会, 日本史研究会, 歴史学研究会, 福井県郷土誌懇談会		
キーワード:	海軍, 志願兵, 地域, 兵事資料		
技術相談 提供可能技術:	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体史編さん ・歴史資料整理や目録作成 		

研究内容:

【海軍志願兵についての研究】

日露戦争後～アジア・太平洋戦争期に海軍志願兵をどのように集めていたかについて研究しています。戦前の軍隊の制度としては、20歳以上が入営する徴兵制度が有名ですが、「予科練」に代表されるように、海軍は常に一定の割合を20歳未満の全国の青少年から志願で集めていました。青少年が海軍を志願するためには、周りでそれを支える仕組みが必要であったはずですが、こうした点を明らかにするために、海軍がどのような拠点を地域に設けていたのかを研究しています。

こうした拠点について検討するにあたり、海軍協会や地方海軍人事部・在郷軍人会などの組織の動向について、各地の役場に残る行政文書や防衛省防衛研究所の資料・各種ポスター類などを使って研究しています。(写真は「啓発新聞の作り方」2〔日本宣伝研究所、1943年〕より、海軍志願兵募集のために児童生徒が作成するポスター一例)。



【軍隊と地域についての研究】

前述の海軍の研究を軸にして、今後は陸軍も含めた軍隊と地域の関係についての研究を進めていきたいと思っています。特に鯖江は歩兵第36連隊が置かれた「軍都」でもあるので、今後は鯖江市域の軍隊と地域の関係についても研究していきたいと思っています。